

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	るーと			
○保護者評価実施期間		2025年 11月 11日	～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間		2025年 11月 17日	～	2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間		2025年 11月 1日	～	2025年 11月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16	(回答数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設の状況に合わせた提案ができていること。	お子さんの状況だけでなく、訪問先の状況も考慮した上で、実現可能な方法を一緒に相談できるようにしている。	訪問支援の目的やお子さんの目標とする姿の共有を行うことによって、より共通認識を持った上で支援について相談できる状況を作っていく。
2	作業療法士が訪問することによって、医学的な視点や身体的な視点、どのように活動への参加を捉えていくかという視点、など多角的な視点での提案を行うことができる。	色々な視点から状況を捉えることを意識しており、そこから状況に合わせた提案ができるように努めている。	視野を広く持ちながら、それらの視点や情報を訪問先の先生方と共有できるように考えていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の際に使用する教具等について保護者の方との共有ができないこと。	教具等については、基本的には訪問先施設にあるものを用いて考える（その方が継続した支援に繋がりやすいと考えているため）ため、こちらが使用する教具として紹介することが少ないことが要因と考える。	訪問内容の報告時に導入に至った教具や使用した教具があれば実物を見てもらしながら（写真も含む）説明することとする。
2	訪問支援を実施する目的や終了の基準を明確に共有できていないことがある。	訪問時の説明不足等により、訪問支援を実施する目的や終了の基準が明確に共有できていないことがある。	訪問先とも相談しながら、必要に応じて定期的に会議を持ち、訪問支援の目的や終了の基準を明確に共有していく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	るーと	公表日	2025年 12月 26日	利用児童数	37	回収数	20
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12	1	0	7	教材を使用した事がないので、不明。	訪問で使用した教具等について、報告時に具体的にお伝えすることとする。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	17	0	0	3		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	20	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	20	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	19	0	0	1		
	6 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	1	よく見て頂けてます。助かっています。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	成長に合わせて段階的に、また保護者の願いも取り入れながら無理なく支援計画を作成してくださっています。	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	20	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	4	ガイドラインを見たことがないため不明。	契約時にガイドラインの紹介をすることも検討することとする。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0	毎回とても丁寧に説明していただいています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	13	1	0	6		
	15 必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	0	できるようになったこと、今頑張りたいことなど気軽に相談でき、共通認識、共通理解していただいていると思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	0	親としてはついつい口を出したくなるような場面でも、先生は共感的に前向きな関わりをしてくれるからです。 保護者と同じ気持ちで支援してくださることが心強いです。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていますか。	18	2	0	0		

	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0	園生活や行事での困りごとや支援の仕方などを一緒に考えてくださっています。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	18	2	0	0	毎月丁寧に連絡いただき、子どもの課題や成長がよくわかります。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	4		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようしていると思いますか。	16	2	0	2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	2		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18	0	0	2		
	28	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0	いつもありがとうございます。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

るーと

公表日

2025年 12月 26日

利用児童数

37 回収数 11

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11			<p>すぐに取り入れることができることだけでなく、長期的な視点でも見てもらえてありがとうございます。</p> <p>実際の保育、支援を見ていただく中で助言をいただき、とてもわかりやすいです。</p> <p>すぐに取り入れられることばかりで、非常にわかりやすく助かっています。</p> <p>すぐにでも取り入れられること、環境から実施できることを助言していただき有難く思っています。</p>	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11			<p>私たちでは、思いつかないような専門的な視点でアドバイスをいただいている。</p> <p>自分自身がわからない体のしづみ、動かし方についてわかりやすく教えてくださっています。</p> <p>的確で分かりやすいです。</p>	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	11			<p>報告書の作成は毎回ありがたく、見直すことができる。</p> <p>どんな質問にも丁寧に応えてくださっています。</p> <p>いつも丁寧に答えてくださり、たいへん助かっています。</p> <p>的をいた回答ばかりで、私たち職員が学ぶ場となっています。</p>	
4	保育所等訪問支援を利用したことでの課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11			<p>本校の子どもに対し、担任をはじめ教員にとても悩みや不安の軽減につながった。</p> <p>日々の生活だけでなく、行事などでの支援の仕方や参加方法など一緒に考え、解決していただいている。</p> <p>1ヶ月に1度来てくださるので、課題を見つけた時、すぐに聞くことができます。</p> <p>一つ一つ取り入れていくことで、子どもたち自身の成長に少しずつつながっているように感じます。</p>	
5	事業所からの支援に満足していますか。	11			<p>大変ありがとうございます、満足しています。</p> <p>来てくださることで、新たな視点や担当児の成長に気づくことができています。</p> <p>定期的に来園していただきたいくらい満足しています。</p>	

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<p>1ヶ月に一度訪問していただき、学校でのことを受けて色々と考えてくださいました。本人の成長のためにも、これからも来校いただき、よりより教育や支援をしていけたらと思っています。</p> <p>いつもいろいろと相談に乗ってくださりありがとうございます。具体的にアドバイスください、とても勉強になります。今後ともよろしくお願ひいたします。</p> <p>毎回丁寧で子どもだけでなく、教員の思いも尊重してもらいながら助言等いただけることが、日々の仕事の悩みを軽減する上でも一緒にやれている感があり、教員一人一人が孤立感なく、自己肯定感を保ちながらでき、とてもありがとうございます。</p> <p>現在、午後の観察がメインとなっているので、観察場面を広げてもらえれば子どもの多様な姿、支援場面を幅広く見ていただけるなと思っております。可能な範囲で時間の幅も広げてもらえばありがとうございます。</p> <p>いつも悩んでいることに丁寧にアドバイスをください、ありがとうございます。</p> <p>専門的な視点からの助言が、私たち自身の学びに繋がることで、子どもたち一人一人の成長を高めていくことができています。</p> <p>いつもありがとうございます。</p> <p>保護者がサービスを利用する目的・更新する際の目標・利用を終了する目安（継続希望あればその理由）があればありがとうございます。</p> <p>目標の妥当性を高めることや定例会の実施について、業務としてリーダーシップをとっていただきたいと感じます。</p>	<p>訪問時間の調整については、すぐに訪問先と調整し、今後幅広い時間で訪問させていただけるように対応した。</p> <p>計画書更新時に必要に応じて訪問先と会議を持つこととする。それによって訪問支援を利用する目的の共有や目標の妥当性の検討を訪問先と一緒に考えていくこととする。</p>

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
事業所名		2025年 12月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境整備・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	1	訪問先にあるもので対応できる方が継続した支援になるとを考えているが、不足しているものについては改善が必要である。	定期的に訪問支援員と必要な教具教材について相談する時間をとる。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	必要に応じて複数名で訪問することなどを行なっているが、利用希望者数が増えているため、訪問支援ができる人材を広げていく必要がある。	教育システムを整え、訪問支援ができる人材を広げていく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		定期的にミーティングを行い、職員の意見も確認しながら、業務改善に努めている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎年評価を実施し、挙げていただいたご意見をもとに業務改善を実施している。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的にミーティングを行い、職員の意見も確認しながら、業務改善に努めている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	外部評価は行なっていないが、今後必要性の検討を進めていく。	制度や必要性を確認しながら、検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎月、事業所内研修を実施しており、職員の資質の向上に努めている。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		保護者のニーズやお子さんの訪問先での様子を確認した上で、保育所等訪問支援計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援計画原案をもとに、訪問支援員にも意見を聞きながら作成を実施している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		支援計画原案をもとに、訪問支援員にも意見を聞きながら作成を実施している。また、訪問先の先生方にもニーズを確認しながら作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		ICTも活用しながら、全ての職員が計画を確認しやすい状況を作り、それに基づいて支援ができるように努めている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	訪問支援の中では、標準化されたツールを使用することは少ない。お子さんや訪問先の状況を踏まえて、必要なアセスメントができるような環境は作っておく。	定期的に訪問支援員と必要なアセスメントツールなどについて相談する時間をとる。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保育所等訪問支援ガイドラインも確認しながら、保育所等訪問支援計画を作成している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		ICTも活用しながら、全ての職員が計画を確認しやすい状況を作り、それに基づいて支援ができるように努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		複数で訪問に行く時には、予め役割やポイントを共有して訪問している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		複数で訪問した際には、振り返りや各々が気づいた点を共有した上で記録している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		訪問先の理念や支援手法、先生の思いなども鑑みた上で、実現可能な支援方法を提案するように努めている。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		記録を毎回徹底し、訪問の際には前回の記録も確認しながら支援を実施している。	
		定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			定期的に保護者や訪問先の先生に意向の確認を行なっており、訪問支援の必要性についても随時検討しながら取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議などには、直接訪問した職員かその内容を把握している児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		地域の保健師さんや行政とも必要に応じて情報を共有しながら支援を実施している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		ご家族や関係機関と相談しながら、必要に応じて進学先への情報共有を実施している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	訪問支援に特化した研修に参加することは少ないが、外部の研修参加できる仕組みは作っている。	訪問支援員に研修の希望などを確認しながら、質の向上に向けた相談を実施していく。
	24	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4		自立支援協議会や子ども部会へ参加しており、児童発達支援管理責任は部会長を務めている。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		訪問後の報告は毎回実施しており、その際にお子さんの様子やご家族のニーズなどを聞きながら共通理解を深められるように努めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	市の児童発達支援センターで開催されるペアレントレーニングの紹介は行なっている。事業所として、具体的なプログラムでの支援を実施しているわけではないが、お子さんへの関わり方などについて相談、提案はその都度実施している。	必要に応じて、具体的なプログラムの導入や紹介の検討は行なっていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に理解しやすい説明となるように努めている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		訪問前に事業の趣旨や訪問支援の目的についてご説明する機会をつくっている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保育所等訪問支援計画を作成する際には、必ず面談を行い、意向を確認するように努めている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		保育所等訪問支援計画は具体的な支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		電話やLINEなども活用しながら、相談しやすい体制を作っている。また、定期的な面談を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	事業所単位での座談会などは実施しているが、保育所等訪問支援をご利用の方のみを対象とした保護者会等の開催はできていない。	必要性を検討しながら、保護者同士の交流の機会を作ることについて職員と相談していく。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		電話やLINEなども活用しながら、相談しやすい体制を作っている。また、必要に応じて面談の機会を作れるようにしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	保育所等訪問支援のみでの通信の発行はできていないが、法人単位や事業所単位での通信は発行している。	法人単位での通信を定期的に発行し、必要な情報がご利用者様へ届くように努めしていく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報保護マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて取り扱うこととしている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		お子さんや保護者の方が意思を表出しやすいような状況や環境設定ができるように努めている。	

訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		訪問先の先生からのご相談についても、適切に対応できるように努めている。個人での対応が難しい場合も、職員間で相談し、提案できるようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		訪問後は先生とお話する時間をとり、訪問時の様子や必要な支援について、相談・提案している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		訪問後はご家族にもお子さんの様子や支援内容、先生方との相談内容について報告している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報保護マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて取り扱うこととしている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		訪問先の先生からのご相談についても、訪問先の考え方や価値観も考慮しながら、適切に対応できるように努めている。個人での対応が難しい場合も、職員間で相談し、提案できるようにしている。	
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを作成するとともに、事業所単位での訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、職員へ周知するとともに必要な研修や訓練を実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ICTも活用しながら、全ての職員がヒヤリハットや事故報告を確認しやすい状況を作り、再発防止に繋げている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待を防止するためのマニュアルを作成し、スタッフ全員に虐待防止研修を実施しています。また、定期的にセルフチェックシートで自身の状況の振り返りを実施しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		やむをえず身体拘束を行う状況について個別支援計画書へ記載をしています。また、身体拘束を行う場合の決定については、身体拘束適正化委員会での協議の上決定し、マニュアルを作成しています。	